

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	地球環境対策のための自動車に係る二酸化炭素等の排出量低減対策及び新燃費目標設定に関する調査		担当部局庁	自動車局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成12年～		担当課室	環境政策課		課長	江角 直樹	
会計区分	一般会計		施策名	3(9) 地球温暖化防止等の環境の保全を行う				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	自動車からのCO2等の温室効果ガスの排出量低減対策や新たな燃費基準設定に関して有用な調査等の施策を行うことで、運輸部門のCO2排出量の約9割を占める自動車交通分野での温室効果ガスの排出削減を目指す。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	近年、原油高等の影響から、消費者が自動車選択の際に燃費性能を重視するようになっており、自動車メーカーは、ハイブリッド自動車やアイドリングストップ等の技術により燃費性能の向上に努め、二酸化炭素排出量の低減にも貢献している。一方、ハイブリッド自動車やアイドリングストップ車等の燃費性能を高めた車両については、走行/停止中にエンジンを停止させるため、触媒温度が低下し、N2OやCH4の排出量が増加することが懸念されている。このため、これらの自動車から排出されるN2O及びCH4等の排出量について調査し、二酸化炭素の削減効果との関係について検討を行った。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	4	4	4	4	-	
	執行額	-	4	4	-	-		
	執行率(%)	-	92.6%	95.7%	-	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (27年度)	
	重量車の平均燃費向上率(平成14年度比) (平成23年度政策チェックアップ業績指標54)		成果実績	%	8.1	9.2	-	12
			達成度	%	67.5	76.7	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	調査件数		活動実績 (当初見込み)	件	0 (1)	1 (1)	1 (1)	- (1)
単位当たり コスト	4(百万円/件数)		算出根拠	執行額を調査実施件数で除算したもの				
平成24・25年度 予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0						
	地球温暖化防止等対策調査費	4						
計	4							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	自動車からのCO2等の温室効果ガスの排出量低減対策や新たな燃費基準設定に関しては国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札により、支出先の選定は行っている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	成果物は新たな燃費基準の検討、CO2以外の温室効果ガスも含めた総合的な対策の検討等に活用している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】</p> <p>自動車から排出される温室効果ガスは、日本の温室効果ガス排出量の約2割を占める運輸部門の約9割を占めており、地球温暖化防止のため、より一層の削減が求められており、本事業は今後も継続して実施する必要がある。今後の基準化に向けた調査であり、公益性を担保する必要があることから、最低限の条件を付した上で、一定の公益性を有する事業者の中から一般競争入札により事業者を公正に選定しており、同入札において、併せて経費の削減を図っている。</p> <p>なお、昨年度の行政事業レビューにおいて「今後も引き続き競争性のある契約方式を活用するなど実効性・効率性を高め、経費の合理化に努めるべき」との点検結果であったことから、今後の検討に必要な最低限の範囲に絞って実施しており、実効性・効率性を高める工夫を行っている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	302	平成23年行政事業レビュー	0281

国土交通本省
4百万円

〔事業の企画・立案、進捗管理・指導〕



【一般競争入札・請負】

A. (独)交通安全環境研究所
4百万円

【地球温暖化対策関係】

ハイブリッド自動車やアイドリングストップ車等の燃費性能を高めた車両については、走行/停止中にエンジンを停止させるため、触媒温度が低下し、N₂OやCH₄の排出量が増加することが懸念されているため、これらの自動車から排出されるCO₂、N₂O及びCH₄等の排出量について調査を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.(独)交通安全環境研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	試験施設使用料、試験車両借料、エンジンベンチ改造等	3			
その他	一般管理経費	1			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人交通安全環境研究所	調査の実施	4	1	98.17
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					